

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉の原理 A		選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>学生が「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と、精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解し、精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷を踏まえて、それに対する問題意識をもつ価値観を体得することを目的とする。</p> <p><概要>教科書を中心に「障害者福祉の理念」「障害」と「障害者」の概念および社会的排除と社会的障壁について解説する。理解が深まるよう学習課題を毎回提示し、グループワークや学生同士のディスカッションを通じて理解したことを言語化し、幅広い問題意識がもてることを目指す。</p>				
学習上の助言	教科書や配布資料等を参考に授業外での学習時間を使って文献等をあたるなど授業外での学習も行うこと。特に用語については基本的知識として自主的に理解をすすめることが必須である。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	障害者福祉の理念について理解し説明することができる。			HSU(1)、WP(1)(3)	
②	「精神障害」と「精神障害者」の概念について理解し説明することができる。			HSU(1)(2)、WP(1)(3)(5)	
③	精神障害者の排除と障壁における歴史と構造について理解し説明することができる。			HSU(1)(2)、WP(1)(3)(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション（講義概要・講義の進め方・評価方法等）を行う。精神保健福祉の原理とは何かについて学ぶ	講義・GW	シラバスを精読する 序章を精読する	4	
2	障害者福祉の理念と歴史的展開① 障害の捉え方と障害者福祉の理念について学ぶ	講義・GW	第1章第1節を精読する 事前課題に取り組む	4	
3	障害者福祉の理念と歴史的展開② 障害の捉え方と障害者福祉の理念について学ぶ	講義・GW	第1章第1節を精読する 事前課題に取り組む	4	
4	障害者福祉の理念と歴史的展開③ 精神障害者福祉の歴史的展開について学ぶ	講義・GW	第1章第2節を精読する 事前課題に取り組む	4	
5	精神障害と精神障害者の概念① 制度における「精神障害者」の定義について学ぶ	講義・GW	第2章第1節を精読する 事前課題に取り組む	4	
6	精神障害と精神障害者の概念② 国際生活機能分類 (ICF) と精神障害について学ぶ	講義・GW	第2章第2節を精読する 事前課題に取り組む	4	
7	精神障害と精神障害者の概念③ 精神障害の「障害特性」について学ぶ	講義・GW	第2章第3節を精読する 事前課題に取り組む	4	
8	精神障害と精神障害者の概念④ 精神障害の理解と支援にかかわる新たな潮流について学ぶ	講義・GW	第2章第4節を精読する 事前課題に取り組む	4	
9	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造① 諸外国における排除の歴史とその後の展開について学ぶ	講義・GW	第3章第1節を精読する 事前課題に取り組む	4	
10	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造② 諸外国における排除の歴史とその後の展開について学ぶ	講義・GW	第3章第1節を精読する 事前課題に取り組む	4	
11	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造③ 日本における排除の歴史と構造について学ぶ	講義・GW	第3章第2節を精読する 事前課題に取り組む	4	
12	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造④日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取組みについて学ぶ	講義・GW	第3章第2節を精読する 事前課題に取り組む	4	
13	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造⑤日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取組みについて学ぶ	講義・GW	第3章第3節を精読する 事前課題に取り組む	4	
14	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造⑥日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取組みについて学ぶ	講義・GW	第3章第3節を精読する 事前課題に取り組む	4	
15	精神障害者の排除と障壁をめぐる歴史と構造⑦日本の社会的障壁をめぐる課題とその克服への取組みについて学ぶ	講義・GW	第3章第3節を精読する 事前課題に取り組む	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	0	0	50	100
総合 能力 指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価方法		評価のポイント					フィードバックの方法
行動目標		評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して、科目内容の理解度を評価する。 試験範囲は講義で用いた教科書、配布資料から出題するので、予習復習を行い理解度を深め、知識の定着を図ること。 試験形式（筆記試験） 問題形式（選択式、記述式）				Microsoft Teams にて試験解答例を提示する
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワークを毎回行い、取組みの姿勢について評価する。				授業中および講義の最後に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業で実施するが、大学が公表している感染対策及び教員が示す方法を遵守すること。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更や Teams を使った同時双方向型授業もあり得る。 ・Teams を使った同時双方向型授業になった場合は、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 							